

研究テーマ	<p style="text-align: center;">[Ⅲ 造形感覚を發揮して、自分らしい表現を生み出すこと] 意図的な偶然性を活用する表現活動の工夫 — 中学 1 年生 「イメージを形に」の実践を通して—</p>
-------	---

北相馬郡利根町立利根中学校 教諭 森田弥生子

1 研究のテーマについて

「造形感覚を發揮して、自分らしい表現を生み出すこと」のテーマについて考えてみた。「造形＝形ある物を造ること」「感覚＝感受性・センス」「自分らしい＝学習したことを意図に合わせてしかし個性を出して」「表現＝心の中にあるものにあらわすこと又はそのあらわれた形」と言葉の解釈ができる。造形感覚を發揮するためには、造形感覚を身につけなければならない。そのために中学 1 年生の段階で形や色彩などの特性を理解し、創意工夫して表現するための基礎となる技能を育成することが必要になってくる。感受性やセンスは生来のものとのとらえ方もあるが、学習で身に着けられるものであるとも考えられる。「美的感覚」は、美しさを感じ取るなどの美に対する感覚であるが知的な思考力とも深くかかわっているとされる。小学校の図画工作科をふまえて、構成・配色・材料などの造形の基礎原理や方法なども学びながら美的感覚を働かせることが大切であるとする。形や色彩の構成にも特色がある。自分の目と心で深く観察しそれぞれ固有の彩りの特徴をとらえ、感じた色などを素直に表現することが大切である。絵は写真と異なり、自分の表したい形や色彩で画面をつくっているところに特質がある。それに加えて、材料や用具の効果的な生かし方を考え、自分の意図する形や色に近づくように創意工夫して表現することを学習していくことがテーマにつながると考えられる。

中学 1 年生では、形のとらえ方・表し方・大まかな遠近感や簡単な立体感をとらえる学習も大切である。モダンテクニックを経験し、偶然にできた形を活用する。しかし、ほとんどは意図的な考えのもとに作られた偶然である。ここではあえてイメージから独自の形を作っていく方法を使うこととした。

○ テーマに迫る手立て

(1) 造形感覚の育成

美術作品の造形要素は、大別すると形と色から構成される。今回は色彩を重視して意図的に考えられる造形感覚を育成してから、作品制作に取り組むことを考えた。「無彩色と有彩色」「色の三要素」「色相環」「三原色」「補色残像」「色の感情」「色の進色・後退・膨張・収縮」をワークシートで学習した後に、明度・彩度の色彩カードを制作し実際に体験を通して理解させることとした。

(2) 偶然性の活用

モダンテクニックの中から「ドリッピング」「フロッタージュ」「スパッタリング」「パチック」を使って制作し、ポートフォリオした。自己の考えのもとにできる偶然性であるが、意欲づけできる活動である。

(3) 漢字からのイメージと構成

表意文字である漢字から発想できる形をイメージし、レタリングの基本を学習して、カラーージュの技法で作品に仕上げる。

2 実践例

(1) 題材 イメージを形に

(2) 目標

- ・造形要素や表現技法を学習し、発見し、自分の表現に生かすことにより意欲を高めようとする。 <関心・意欲・態度>
- ・色彩・表現方法から、イメージする形が発想や構想できる。 <発想や構想の能力>
- ・表現活動を通して、表現の可能性の大きさを知り、また創造的な技能に習熟する。 <創造的な技能>
- ・自他の作品のよさを知ることを通して、制作の参考にすることができる。 <鑑賞の能力>

(3) 題材について

- ①題材について・・・身の回りには、絵の具をはじめとして、色彩表現が可能な材料が数多くある。また、彩色に必要となる道具も無数にある。これらのものを組み合わせながら、意図的にあるいは偶然からの発見などを大切にしながら、自分だけの表現ができれば、生徒は表現することへの自信と意欲が高められるのではないかと考え本題材を設定した。
- ②多様な表現方法を習得するために・・・「自分は何をどう表したいのか」という、表現することの本来の意味を考えさせ、表現活動の深さと楽しさを味わわせることが大切である。そのために五感を通して楽しみながらかかわることで感触や造形的要素を発見させ、形・色・材料で表す感覚や用具などにかかわる基礎的な理解と表現技法を身につけさせたいと考える。

(4) 指導と評価の計画（19時間・○は本時）

時間	学習内容	評価規準	評価の観点			
			関	想	創	鑑
6	色彩の学習を通して、造形感覚を伸ばす。	色彩の基礎的内容がわかり、表現への意欲をもつことができる。	◎	○		
5	いろいろな表現技法があることを知り、体験する。	モダンテクニックを知り、意欲的に体験できる。	◎		○	
3	レタリングの基本を学び、主題になる文字を制作する。	文字をきちんと描く方法を知り、レタリングすることができる。			◎	
4 本時は②	漢字1文字から発想して、モダンテクニックを活用して構成する。	イメージした形をポートフォリオしたモダンテクニックの中から選んで構成することができる。		◎	◎	
1	工夫した点などを発表し、一言感想を書く。	自他の作品のよさを知ることができる。	○			◎

(5) 本時の指導

①目標

- ・いろいろな表現方法を活用して、漢字のイメージを形にすることができる。

②準備・資料

黒の色画用紙，レタリングした漢字，ポートフォリオしたモダンテクニック，はさみ，のり

③展開

学習内容および活動	教師の支援・評価（○は評価）
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="213 593 603 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>漢字の意味からイメージして、モダンテクニックを使って形をつくろう。</p></div> <p>2 レタリングした漢字から発想する。</p> <ul style="list-style-type: none">・漢字の位置・イメージの形 <p>3 モダンテクニックを使い、イメージの形を作る。</p> <ul style="list-style-type: none">・スパッタリング・ドリッピング・バチック・フロッタージュ <p>4 漢字の意味をもとに、構成をする。</p> <p>5 後片づけをする。</p> <p>6 次時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・表意文字である漢字1文字から、意味を考えてイメージし作品を制作することを知らせる。・ポートフォリオしたモダンテクニックからイメージにあうものを選び活用して作品を制作することを伝え意欲を喚起する。・画面構成上、主題となる漢字の位置が重要となるので、配置する位置に十分に気をつけるように促す。・漢字の意味が生かされる形が作れるような工夫ができるように支援する。・漢字の意味を考え、色彩学習応用して作品が制作できるように支援する。・スパッタリングやフロッタージュは淡いイメージ，ドリッピングやバチックはやや強い表現になることを説明する。・モダンテクニックの特性が生かされるような選び方ができるように支援する。・モダンテクニックの彩だけでは、色彩がはっきりしないので色紙を使ってはっきりさせてもよいことを知らせる。・イメージに合わせて、円形や方形などで工夫できることを知らせる。・見てすぐわかる形ではなく、想像をかきたてるような形を作るように援助する。・手でちぎっても表情が変わることを知らせる。 <p>○モダンテクニックの表現技法を活用し、形をつくることのできたか。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none">・漢字をイメージした画面構成ができるような配置の仕方ができるように支援する。 <p>○画面構成に工夫ができたか。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none">・貼れていない要素は紛失しないように保管することを促す。・次時は構成の続きを行うことを知らせ、意欲づけする。

3 研究のまとめ

中学1年生の4月から色彩学習も含めて作品の完成に19時間かかってしまったが、系統立てて学習が進んだ感がある。ドローイングのような優劣が目立つという課題ではないので、生徒が意欲的に活動し楽しんで制作していた感じを受けた。

(1) 色彩学習ワークシート

色は形とともに造形の大切な要素であり、私たちの生活を豊かにしてくれます。

複雑な色にもいろいろ決まりごとがあり、それによって分別することがせきます。決まりに沿って、順序よく並べたり、グループ分けをしたりして整理してみましょう。

1 有彩色とは

無彩色とは

2 色の三要素（三属性）

色相	
明度	
彩度	

3 (1) 色相環とは

(2) 色鉛筆で彩色し、色相環を完成させよう。色の名も書こう。

(3) 純色とは

(4) 補色とは

4 三原色とは

(1) 色料＝色の三原色（減法混色）とは

(2) 色光＝光の三原色（加法混色）とは

5 色の感情とは

(1) ①寒い感じ（寒色）の色で彩色しよう。

--	--	--	--

②暖かい感じ（暖色）の色で彩色しよう。

--	--	--	--

③中性色で彩色しよう。

--	--	--	--

(2) ①軽い感じの色で彩色しよう。(明度が)

--	--	--

②重い感じの色で彩色しよう。(明度が)

--	--	--

6 色の進出・後退, 膨張・収縮とは

--

☆ 色彩学習をしてわかったこと・感じたこと・考えたことを書こう。

--

(2) 表現の技法

①モダンテクニック



スパッタリング



ドリッピング



ドリッピング



バチック

②漢字1文字 (レタリング)



(3) 構成 (コラージュ)



完成作品



(4) 相互鑑賞 (言語活動)



4 今後の課題

意図的な偶然性を用いた作品制作であったが、そこには学んだことを生かそうという生徒の思いが詰まった作品が多く出来上がった。校内掲示で自分の作品をみて、達成感を味わった様子が見てとれた。抽象という言葉は使っていないが、目で見てすぐにはわからない形からでも意図が想像できることを感じさせながら、自分らしい表現に挑戦させたい。「美的感覚」は、美しさを感じ取るなどの美に対する感覚であるが知的な思考力とも深くかかわっているといわれる。今後、形をとらえる学習や立体物制作あるいは鑑賞を通して、多くの作品から表現の可能性をや造形感覚を養わせていきたい。